

＜ 学校教育目標 ＞  
自ら学び  
心豊かで  
たくましい 稲田っ子

# いなだっ子

笠間市立稲田小学校

学校だより NO.23

令和4年9月26日(月)

## 5年親子学習会「Dr. ナダレンジャーの防災科学教室」

9月9日(金)、5年生が親子学習会を行いました。防災科学研究所のDr. ナダレンジャーにお越しいただき、いろいろな実験を行いました。まず、子供たちは、突風の恐ろしさを学びました。プラスチックで作った突風マシン(空気砲)の実験では、遠く離れているところからも子供たちに風が当たることを体感し、この突風マシンが体育館と同じ大きさだったら、人間は簡単に吹き飛ばされてしまうということを想像することができました。また、ペットボトルに砂、ピン、水を入れて作った「エッキー」を使って、液状化現象の実験をしました。代表児童が行い、ペットボトルに砂を沈めてボンと叩くとピンが浮かび上がり、逆に揺らすとピンが沈んでいく様子を見て、声をあげて驚いていました。実際に東日本大震災で地上に浮きあがったマンホールの写真も見ながら、自然の脅威を学びました。その他にも、雪崩や落石、地震に関する実験なども行いました。

子供たちは、とても集中しながら実験を見たり体験したりして、自然災害について分かり易く学ぶことができました。



突風の体験の様子



液状化現象の体験の様子



雪崩の体験の様子



地震の体験の様子

## 笠間市英語教育推進連絡協議会・計画訪問

9月21日(水)は笠間市の小中学校の先生、茨城大学教育学部准教授齋藤英敏先生をお招きして、笠間市英語教育推進連絡協議会を開催しました。5時間目に6年1組の英語の授業を公開し、その後、授業についての研究協議会を行いました。夏休みの思い出をグループになって発表しましたが、児童はジェスチャーを交えながら表情豊かに夏休みの思い出を英語を使って伝えました。参観された先生方からも、発表者の態度、聞き手の態度ともに素晴らしいと称賛の言葉をいただきました。

9月22日(木)は、笠間市教育委員会の指導主事の先生をお招きして、計画訪問を行いました。計画訪問は、すべての学級で授業を行い、指導法などについて教職員で考えたり指導主事の先生からアドバイスを頂いたりするものです。授業の反省をもとに、指導法を工夫改善し、「自ら学ぶ」児童の育成に努めてまいります。



ジェスチャーを交えた発表



跳び箱の跳び方を確認しているところ



活発に意見を発表



タブレットを使って説明

## 7月20日の表彰者

- みんなにすすめたい一冊の本推進事業 教育長賞 大橋 茉央(4-1) 袖山 蓮(4-1)  
高山 蒼士(4-1) 平間 煌太(4-1) 渡部 智貴(4-1) 野谷 怜佳(4-1) 潮田 真希(5-1)  
深谷 遥音(5-2) 川俣 昂輝(6-1)
- スナッグゴルフ対抗戦地区予選会ホールインワン賞 村上 千空(5-2) 青木 由奈(5-2)

## 9月6日の表彰者

- 第21回全国こども陶芸展 in かさまB部門 選奨 軽部 花珂(4-1) 袖山 愛(5-1)
- ※ 学校だよりへの表彰者の掲載は、稲田小として活動した個人のみとさせていただきます。

